

Trimble Business Center(出来形版) Ver.5.00 アップデート機能一覧

分類	機能	改良内容
インポート	APAインポート	ファイル内に同一名称のポイントがある時に、2つ目以降のポイントがインポートされない件を改善しました。
インポート	SIMAインポート	ファイル内に同一名称のポイントがある時に、2つ目以降のポイントがインポートされない件を改善しました。
インポート	PDFインポート	PDFファイルがインポートできるようになりました。インポート後にラスタとして平面図に配置することもできますし、インポートと同時にCAD図形に変換してシートに配置することもできます。
エクスポート	SIMAエクスポート	任意測点の横断現況を出力できるようになりました。
エクスポート	SIMAエクスポート	横断現況の各点の間の距離が長い時に、点間に点を補完できる機能が追加され、「三次元点群を使用した断面図作成マニュアル(案)」に準拠した横断現況データを作成できるようになりました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	「三次元設計データ交換標準(案)」のデータ交換バージョンとして1.2が選択できるようになりました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	測地原子が指定できるようになりました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	出力対象の線形毎に、測点名のフォーマット間隔や構築物の分類などを指定できるようになりました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	ファイルをエクスポートする時に、コリドーのオリジナルの地面や、側斜面のターゲットテンプレートを、現況面としてエクスポート対象に指定した面に差し替えることができる機能を追加しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	LandXMLファイルのインポートで登録されたポイントを出力対象としてリストに追加したときに、ポイントの種類が自動で選択されない件を改善しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	側斜面が出力される際に、常にSlopeCut(切土)として出力されていた件を改善しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	複数の縦断線形がある時に横断構成点名が正しく出力されない件を改善しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	同一名称のポイントを出力対象として指定した際に、2点目以降のポイントが出力されない件を改善しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	片勾配の傾きに微小な誤差が含まれる場合がある件を改善しました。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	クロソイドと円弧がS字で接続されている場合に、出力した中間点の名前が正しくない件を改善しました。
コマンド	横断図の3D変換	変換元オブジェクトのレイヤを、新しいオブジェクトのレイヤに適用できる機能が追加されました。
コマンド	横断図の3D変換	検出対象シートリスト上でのポップアップメニューより、全シートの対象選択および選択解除ができるようになりました。

Trimble Business Center(出来形版) Ver.5.00 アップデート機能一覧

コマンド	横断面の3D変換	3D変換時に、以前実行した際に生成されたオブジェクトを削除せずに、新しく生成して変換できるオプションが追加されました。
コマンド	横断面の3D変換	横断面シートを検出対象シートとして指定できなかった件を改善しました。
コマンド	横断面の3D変換	シートの縦横を誤認識する場合がありますを改善しました。
コマンド	横断面の3D変換	CADテキストが3Dに変換されない件を改善しました。
コマンド	任意断面図の作成	面と断面線を指定して、面の断面図を任意の位置に作図できるコマンドが新しく追加されました。
コマンド	任意断面図シートの一括作成	面と複数の断面線を指定して、面の断面図をシート上に一括で作図することができるコマンドが新しく追加されました。
コマンド	三次元数量レポート	地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)などで求められる数量算出レポートを出力するコマンドが追加されました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	グリッドデータ化の手法として、「差の最頻値」、「差の平均値」の2つの手法が利用できるようになりました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	規格値の50%以内の点数を間違えて計算する場合がありますを改善しました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	出力したLASファイルの座標値とレポートのオリジナルデータの座標値に微小な差異がある場合がありますを改善しました。
コマンド	出来形合否判定総括表(様式31-2)の作成	中央値で計算したときに結果が正しくない場合がありますを改善しました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装](様式31-2)の作成	規格値について、土木工事施工管理基準及び規格値(案)で「中規模以上」として定義されている設定から「小規模以上」の設定に、初期値を変更しました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装](様式31-2)の作成	検査値の種類として「最頻値」から「差の最頻値」に名称を変更し、新たに「差の平均値」が追加されました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装](様式31-2)の作成	「土木工事施工管理基準及び規格値(案)平成30年3月」で追加された各種コンクリート舗装工の規格値が追加されました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装](様式31-2)の作成	出力したLASファイルの座標値とレポートのオリジナルデータの座標値に微小な差異がある場合がありますを改善しました。

2018/11/1
(株)ニコン・トリンブル